

2 月 定例会

一 般 質 問

2月定例会では、2月26日から3月3日までの4日間にわたり、会派代表質問（6人）及び個人質問（6人）が行われました。会派代表質問については会派ごとに2項目、個人質問については議員ごとに1項目、合計18項目を掲載しています。

（会派代表質問）

市民クラブ

介護保険制度改正による課題
と今後の保険料

問 国が検討している平成27年度からの介護保険制度改正により、要支援認定者のサービスは低下しないのか、また、事業所への影響はどのようなものか、あわせて、本市の介護保険料はどのように推移していくのか伺いたい。

答 国は、要支援認定者に対する予防給付（訪問介護及び通所介護）を市町村が実施する地域支援事業の新しい総合事業へ平成29年度末までに移行する予定である。そのため、既存の事業者に対し、現在のサービス提供の状況と

総合事業への意向調査を実施するとともに、国が示す指針を参考に要支援認定者が適切なサービスを受けられるよう準備を進めたい。

また、介護保険料基準額は、保険給付費及び高齢者数をもとに算定するが、本市の高齢者推計人口が平成37年ごろにピークとなることから、増加傾向で推移していくと予測している。今後も、必要な介護サービスを確保し、将来に向けて持続可能な介護保険制度を確立していきたい。

長崎がんばらばらんば国体・長崎がんばらばらんば大会に係る市民の機運の盛り上げ

問 市民全体の国体・大会への認識や意識は決して高いとは思えない。市民の機運を盛り上げるための現在及び今後の取り組みについて伺いたい。

答 広報基本計画に基づき広報を効果的かつ積極的に行うこととしており、これまで各種イベントにおいて会期や市内開催競技を知らせる長崎市公式ガイドや啓発グッズの配布、ホームページ等による情報発信、長崎青年会議所と協働して長崎出身のオリンピック選手による水泳教室等を実施した。

これらの取り組みを今後も継続するとともに、国体開催99日前に実施する記念イベントを初め、市民参加型のイベントとして、炬火の火起こしや集火式の実施、全国の珍しいけん玉やお手玉を集めた企画展等を予定している。

また、横断幕等による商店街の歓迎装飾、市民協働のおもてなし活動の一環として、宿泊施設の従業員を対象とした講習会の実施など、さまざまな機会を捉え、これまでに国体開催の機運を盛り上げたい。



▲水泳を指導しているシドニーオリンピック銅メダリストの中尾美樹さん

炬火（きよか）とは、たいまつの中の火のこと。オリンピックでは「聖火」と言われる。



明政・自由クラブ

大型事業の計画と
人口減少対策

問 本市は、厳しい財政状況の中、市民病院、MICE施設、新市庁舎の建設など大型事業がめじろ押しであるが、今後の財政運営について伺いたい。また、人口減少対策、定住人口の増加対策に係るこれまでの対応状況と成果について、見解を伺いたい。

答 大型事業が今後10年間に集中することから、想定される大型事業を織り込んだ20年間の中期財政シミュレーションでは、市制100周年記念事業として取り組んだ大型建設事業の償還が一定終了したこと等により、大型事業に取り組める環境は一定整ってきている。今後とも、行財政改革プランに基づき、市税を初めとした自主財源の確保や事務事業の見直しなど歳入歳出両面からの継続的な收支改善により効率的な行財政運営に努めたい。

人口減少対策については、雇用の拡大と所得の向上を図ることで定住人口の増加につなげるための取り組みを行った。今後も子育てしやすい環境づくりや住宅政策等のさまざまな取り組みを複合的に進め、定住人口の増加を図